

# ぱるつうしん

発行元: 社福)藤沢育成会 サービスセンターぱる  
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592  
電話: 0466-28-0909 FAX: 0466-28-0959  
法人ホームページ: <http://www.f-ikusei.or.jp>

平成29年6月号

梅雨と言えば...なアジサイがあちらこちらで見られるようになりました。

皆さんはアジサイの名前の由来を知っていますか？

「小さい物が集まっている」という意味の「あづ(あぢ)」と、「青花」という意味の「さ中(さあい)」を合わせて、「アジサイ」となったんだとか。確かに、遠くから見ると大きな花の様に見えますが、近づいてみると小さな花がたくさん集まっている様子が分かりますよね。



(社福)ラファエル会 鎌倉薫風前で

ちなみに、アジサイは漢字で「紫陽花」と書きますが、これは日本原産のアジサイとは異なる中国で咲いていた花の名前で、昔の日本人が同じ花だと勘違いして当て字をしたことから使われるようになったと言われています。

なにとはともあれ、青、白、紫、ピンク...と、本当に色とりどりの花を咲かせるアジサイは、雨が多くてちょっと気持ちが落ちそうな時に笑顔をくれる素敵な花です。(M.A)

## 倉重所長の「お耳拝借」

新年度を迎えてから2か月が過ぎました。少しずつ「ぱる」の事業所全体も私自身も落ち着いてきた感じがします。

障害を持った方も地域であたりまえの暮らしをする、これは言うのは簡単ですが、日々実践している皆さんにとっては課題も多く、また苦労も多いことだと思えます。

でも地域の暮らしを支えるといった場合、福祉サービスだけではとても支えられることはありません。私たちもそうですが、いろいろな人々といういろいろなかわりがあつて生活が成り立ちます。家族、友人、仕事仲間、地域の人々などなど。

先日、こんなことがありました。

土曜日の夕方に用事があつてぱるに行つたところ、グループホームの利用者さんが職場の同僚の方に車で送ってもらつたところに出会いました。お部屋に來てもいいよ、と言われたのと同僚の方はとても躊躇している様子でした。「本人が見ていいよ、と言っていますから」と遠慮なくどうぞ」と促すと、それでも少しためらいがちにお部屋に上がつていかれました。短い時間でしたがその時の二人の様子はとても嬉しそうです。

こんな小さなエピソードですが、地域での生活を支えてくれる人が一人でも多く増えてくれればいいなと思うと同時にグループホームの暮らしは、地域で暮らすといつてもまだまだ地域の人からみれば敷居が高いことなのだなと思えました。



特集

おやじ三人衆がご紹介!!

# よし介工芸館



今回の特集では、法人内で一番（！？）アーティステックな事業所『よし介工芸館』を、元よし介職員の“三匹のおやじ”が、ご案内～！

実は、ヘルパー部署やグループホーム部署とも関わりの深い事業所なんですよ！  
個性あふれる作品と、笑顔あふれる素敵な場所を紹介します。



よし介工芸館本体（遠藤）



## よし介工芸館って???

障害者総合支援法上の「生活介護」事業所です。

現在、遠藤にある本体施設（定員40名）と用田にあるアートスペース若草（定員20名）の2つの事業所を合わせて「よし介工芸館」と称しています。



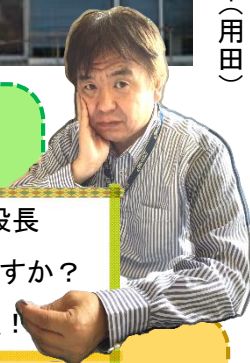
アートスペース若草（用田）

## 「想いをカタチに」

施設運営上大切にしている考え方（理念）の1つ。利用者、職員それぞれの想いを、形式にとらわれずに、様々な“カタチ”として表現しよう、という考え方です。

この理念を大切に、創作や軽作業等の活動を行っています。

佐藤貢 施設長  
覚えていますか？  
懐かしい顔！



義介の像は、本体の玄関前に！  
会いに来てね♪



## 「モノづくりとモノがたり」

創作活動は、ただモノを作るだけでなく、絵画や機織りなどの作品が生まれるまでに様々な物語があるのです。

完成に至るまでの背景も大切にモノづくりを応援しています。



## 「よし介工芸館の原点」



よし介の歴史を語る上で欠かせないのが、藤沢出身の児童画家・黒崎 義介画伯。黒崎先生のご自宅で、絵画・版画・はた織りの活動をしていたことが原点です。

当時は、施設や作業所という制度に則った形ではなく、今でいう“インフォーマル”な活動場所でした。先生の没後、御夫人よりご自宅を譲り受け「よし介工芸館」が始まりました。

現在、場所は移転しましたが、先生への感謝と敬意を込めて、“義介の像”を建立しました。

## 「よし介本体の活動」

\*軽作業班・・・3つのグループに分かれ、箸の袋詰めを中心に活動します。積極的に作業する方も、ゆったりペースで過ごす方もいます。

\*アトリエ班・・・絵画や版画、また張子人形の作成など、芸術家それぞれの創作意欲のおもむくまま、自由に作品作りをしています。

## アートスペース エクル

2010年4月に開所した工房です。本体から徒歩5分程の場所にあるエクルでは、絵画に特化した活動を行っています。



5月22日から約1ヶ月間「黒崎義介展」を開催！  
貴重な蔵出し作品を一般公開しました♪

# 「1日の流れ」

9:00	通所・送迎
9:30	打ち合わせ
10:00	午前の活動
12:00	昼休み
13:00	午後の活動
14:45	片付け掃除
15:00	お茶タイム
15:40	帰りの会
15:50	帰宅・送迎

## 「アートスペース若草」

平成28年4月、それまで羽鳥にあった「分場若草」が用田へ移転し、機織りとビーズ製作を中心に活動する「アートスペース若草」としてリニューアルしました。

建物の一部にはショップコーナーを設け、様々な作品等の販売を行っています。

「用田」交差点の目の前！  
遊びに行こう！



ウまいご飯を食べて午後も頑張るぞ！



いつでも皆さま  
見に来てください。  
お待ちしております。

西久保さん



佐々木さん

絵を描くのが楽しい。  
お仕事も頑張っています。

糸やメッセージカードを描いています。頑張っています！

宮脇さん



### 「利用者の声」

## 「昼の往復便」

ぱる初代名物オジサン!?

よし介では、午前と午後で活動場所が異なる利用者さんの為に、本体とアートスペースを繋ぐ「往復便」があります。

また、利用者さんの移送に加え皆さんお楽しみのお弁当の配送も「往復便」が担っています。メインドライバーは、この方！

濱田茂さん



私も行ってきました！

## 「アートビリティ大賞受賞」

「アートビリティ」という言葉、知っていますか？

(社福)東京コロニーが始めた、障がい者アーティストの才能を、芸術運動としてではなく、所得(お金を得る)面から社会参加を促そうと、始めた事業の事です。

全国から応募された作品を審査し、合格した作品のみを、企業等に有料で貸出、その使用料の一部が作家へ還元される仕組みとなっています。

そのアートビリティに参加したアーティストの中から、年間で活躍した3名(組)が、アートビリティ大賞、日立キャピタル特別賞、アートビリティ奨励賞に選ばれるのですが、

2016年に、約200名のアーティストの中から、見事よし介工芸館が大賞を受賞しましたっ！！  
授賞式にも参加してきました。



よし介では、アーティストの版画作品を使ったカレンダーや、機織りで作った季節感あふれる布を取り入れたカレンダー等を毎年販売しています！大賞受賞作家のカレンダーを飾ってみませんか？(購入はよし介へお問い合わせ)

★子ども支援部署★

今回は、カラフルでよく遊びに行く公園について紹介します！

今田公園



場所は湘南台7丁目です。  
 住宅街の中にある公園で、大きめの滑り台  
 ブランコ、ヒーロのドームなどがあります。  
 写真の左側にある塀のようなところでは、平  
 均台のように上を歩く子もいます！  
 走れる場もあるので、スタッフと一緒に  
 “よいドン！”の合図で追いかっこを楽し  
 んでいます！  
 ☆広々としたところなので、散歩したり、走つ  
 たりとそれぞれ、好きな遊びをして楽しんで  
 います。



東山田公園



場所は天神町3丁目にあります。

写真左手にあるアスレチックでは、吊り橋が  
 あり、子どもたちは、ぐらぐらする揺れを楽  
 しんで歩いて渡っています。スタッフの方が高  
 さや揺れにおびえています。(笑)  
 写真に写っていないのですが右手には、ハンド  
 ルを回すとぐるぐる回るコーヒーカップがあ  
 ります。子どもたちは、笑顔いっぱいぐる  
 ぐる回して楽しんでいます  
 ★他にも、前後に揺れる乗り物もあります。  
 こじんまりとしていますが、お天気もいい日に  
 は、なんとなくほっとするそんな公園です！



おやつをもって公園へ出かけよう♪  
人気おやつベスト3



はぐ

- 1 かぶきあげ
- 2 ぱりんこ
- 3 ビスコ

意外と不人気なのがチョコレート！

星の村

- 1 チップスター(うす塩)
- 2 じゃがりこ(サラダ味)
- 3 バームクーヘン

グミやゼリーも人気です  
特にぶどう味♪

カラフル

- 1 チョコレート
- 2 果汁グミ
- 3 どうぶつえんゼリー

チョコレートは何も入っ  
ていないもの！  
カラフルでは純チョコと  
呼んでます★

プリズム

- 1 グミ
- 2 サラダせんべい
- 3 チョコレート

シンプルな味が一番！  
グミは種類問わず人気！

# \* ヘルパー部署 \*

今年度の育成会の法人全体会では、以前にもお伝えしましたが、山崎洋実氏より、人との関わり方についての講演がありました。

その中で、ある出来事のお話がありました。

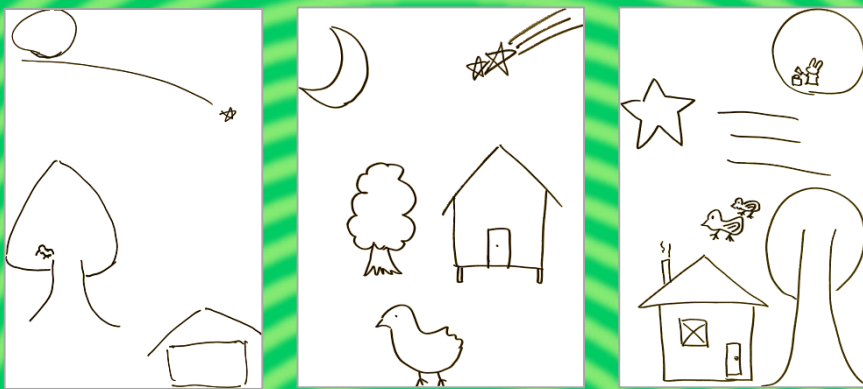
洋実氏が夫のお母様と出かけた際、夫より「買い物が終わったら迎えにくるから連絡して」と言われていたが、夫に悪いと思い、連絡せずにタクシーで帰宅された。すると、夫も連絡が来ていないが迎えに行き、すれ違いになり喧嘩をされたとの内容でした。

「これは、「連絡してほしい」とまで伝えておらず、お互い気を遣い行動した結果、すれ違いになったもので、どちらも悪くはなく、言葉が足りない事から言葉の捉え方が違い、起きた出来事とのことでした。

実際、このお話を伺い、自分自身も家族と言葉足らずで喧嘩をすることがあり、自身の思いを言葉にして伝える事は、自分が捉えているように、相手が捉えられるとは限らない事を学びました。

先日行ったヘルパー向け研修(ヘルパー会議)の

中でも、「伝える」というテーマの演習を行いました。1人の発言者が「流れ星をかいてください」「月をかいてください」等の指示をして、参加者が言われた指示通りに紙に表現していくというものでした。結果として、同じ指示を受けていたのに、同じ絵を描いた人はおらず、それぞれ1人1人の捉え方が違うことを学びました。



## ○「流れ星」「月」「木」「家」「鳥」を書くという指示に対して……

1つの場面としてまとめて描く方と、1つ1つの指示を単体で描く方。

満月や三日月、飛んでいる鳥や木で休む鳥etc…

三者三様の作品が出来ました。比べると面白いですね！



“自分の伝えたいことを、相手に伝わるように、言葉を選びながら話をしていく。”この仕事をしていかなかったら、「言葉で伝えることの難しさ」を感じることはなかったかもしれない。自分が捉えているように話をしても、相手と同じように捉えてくれるとは限りません。それは、私達が家族や友達に話をする時も、支援をする時も同じだと思います。

ゆっくり丁寧に説明をすることが分かりやすい方や、端的に伝える方が分かりやすい方、言葉でなく絵で伝えていく方、指差して伝えていく方、文字盤を利用する方等、利用者さんによって、「分かりやすさ」は様々です。その方にあつた伝え方をしていく事が必要です。利用者さんと関わる際は、その伝え方で理解できているのかを確認しながら、分かりやすい方法で伝えていく事を心がけていきたいと思えます。(只熊)



## 「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」のご案内♪ 6月29日締切！

7月15,16,17~29(うち1日),30日の4日間で実施します。ご家族、ご友人で、「ガイドヘルパー」にご興味のある方はいらっしやいませんか？受講の申し込み、質問はヘルパー部署へ、お気軽にお問い合わせください！

◇グループホーム部署◇

今回は、グループホーム部署の“ある”取り組みについて紹介します。

その取り組みとは、現在10カ所あるグループホームにそれぞれ特徴を持たせようとコンセプト作りを行っていることです。検討の中で出てきたコンセプトは、男女の住み分け、就労を目指すホーム、一人暮らしに向けてステップアップを考えている人のホーム、生活介護事業所に通っている人の為のホームなどです。

今までは、ホームに空きが出たところに新規入居者の方を募集するのが通例で、必ずしも希望したグループホームに入居できる訳ではありませんでした。その為、新たな取り組みでは、グループホームに空きができた時に、まず入居している利用者さん全員にどんなホームが空いたのか(コンセプトを含めて)を説明し、移動希望者を募り、面談を行いました。

黒崎ホームでは、まだまだ新しいグループホームを新設していきたいと考えており、その都度、利用者さん全員が生活の場を自分で選択できるというチャンスを大切にしていきたいと考えています。

5月末までにハイツリール、黒崎ホーム、コスモス湘南、クレソンハイツ、和泉ハイツ、かわせみハイムの6ホーム間で5名の利用者さんが引越しを行い、新たな生活をスタートさせています。ホームの移動が決まると、それぞれ積極的に荷造りを始めるなど、新たな生活に胸を膨らませている様子が伺えました。

「前のホームでは女性は自分一人だったけど、今のホームには女性が多くて楽しいし、安心する。」と笑顔でお話される方や、環境が変わったものの、新しいホームでの生活に「落ち着く。」と話される男性もいらっしゃいました。

まだ始まったばかりですが、これから利用者さんたちがどんどん“自分が生活したい場”を選択できるよう、今後も積極的に取り組んでいきます。

前述もしましたが、生活する場の選択肢を増やす為、新規グループホームの増設を今年度末に向けて行っていきます。

ホーム入居者の高齢化に伴い、介助がスムーズに行えるバリアフリーのホームがコンセプトとして挙げており、車いすでの移動が可能で、浴室やトイレなども入りやすい仕様にして暮らせるホームになるよう計画を進めています。

新スタッフ紹介



建部 英之さん (たてべ ひでゆき)



鈴木 幸恵さん (すずき ゆきえ)

5月に入職

されました◎

グループホームの愛情クッキング♪

グループホームの食卓 ☆配食サービスの利用例☆

グループホームの業務の中で食事作り・買い物に使う時間はとても長く、時には利用者さんと話す時間を奪ってしまうことも…。そこで、配食サービスを利用し、調理時間を時短することで、利用者さんに関わる時間を増やすなど、各ホームで世話人・支援員の働き方・時間の使い方を工夫しています。

\* 献立 \*

- スモークサーモン
- チキンステーキ(ソース付)
- 赤ピーマンマリネ
- インゲンのピーナッツ風味
- はんぺん明太焼き
- ちくわソテー
- えのきお吸い物
- 卵豆腐
- コーヒーゼリー
- サクランボ、みかん



魚屋で購入している新鮮なお刺身はどのグループホームでも大好評♪利用者さんからリクエストされることもしばしば(^^)

黒崎ホーム  
クレソンハイツ  
椎名世話人

# 投稿員

今回は、ヘルパー部署  
新スタッフ松本浩貴が  
担当します！

## 『ごはんの悩み』



トマトで彩りを  
加えています！

湘南あおぞら勤務時は食事を頼んでいましたが、ぱるに異動してからは給食が無くなったので、節約の意  
味も込めてなるべくお弁当を作るようにしています。

ただ、実家にいた時から料理は殆どしていなかったの  
で知っているメニューも少なく困っていました。

そんな話を同じ部署のスタッフにもしていたため、手  
間なく簡単に出来るメニューを教えてもらえるようにな  
りました。知識がないのですごく助かっています。あ  
と、スマホのアプリも活用させて頂いています。便利な  
時代ですね。

どうしても自分で作れないメニューは、実家に帰って  
さりげなくリクエストします。美味しく頂いています。

## みんなで作る『みんな・de・六会』活動報告

藤沢市から委託を受け、地域の  
縁側事業『みんな・de・六会』が昨  
年(2016)10月1日にオープン  
し、すでに半年余りが過ぎまし  
た。

毎週、火曜日と木曜日、午後1  
時から5時まで、マクドナルド六  
会店2階奥のキッズスペースが  
『みんな・de・六会』の活動場所  
です。

藤沢市には地域の縁側事業と  
して活動している場所が、現在26  
か所ありますが、ほとんどが個  
人の自宅や福祉事業所の一角を  
使っていて、商業施設、しかもマ  
クドナルドという誰もが知ってい  
るお店を使っているというのは、  
大変ユニークな試みです。

正直なところ、マクドナルドの  
お客さんで賑わっているスペース  
で地域の縁側事業を行うとどん  
な様子になるだろうか、妙に「浮  
いて」しまうのではないだろうか  
と不安がありました。でもオー  
ブンして数回活動を重ねた時点  
でそれは杞憂だとわかりました。  
午後1時にマクドナルドの2階  
にお邪魔して『みんな・de・六会』

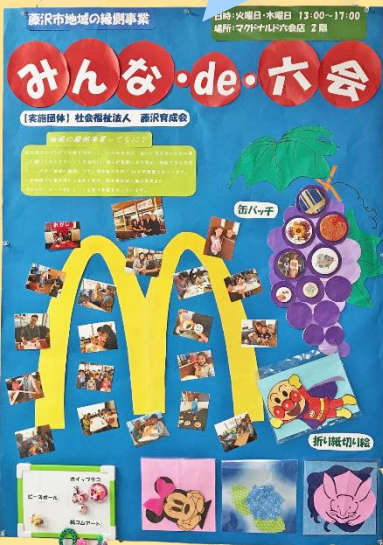
のセッティングをします。

店先に『地域の縁側事業』のの  
ぼりを立て、毎回のプログラムを  
書いた看板を設置します。店内  
の活動場所にはその時点で、たい  
てい2〜3組のマクドナルドのお  
客様が椅子に座っています。キッ  
ズスペースなので、ほとんどが親  
子連れの方です。『みんな・de・  
六会』では、缶バッジ作り、輪ゴム  
アート、ホイップデコ、ビーズ  
ボールなどの簡単な手作り作品  
のプログラムを用意しているの  
ですが、先客として座っているお客  
さんにちよつと声をかけると、特  
にお子さんはすぐに反応してく  
れて、喜んで参加してくれます。  
自然な形で、『みんな・de・六会』  
とマクドナルドのお客さんが共存  
する、楽しい空間が生まれてきて  
います。

こうした中から常連のお客様  
がどんどん増え、幼稚園や学校  
に通うお子さん、赤ちゃんを連  
れたお母さん、お年寄りの二人  
連れ、駅の近くで就労している障  
害者の方などが、入れ替わり立  
ち代わり来て下さっています。  
6月3日〜4日に六会駅前自  
治会の文化祭に『みんな・de・六  
会』の活動紹介の展示をさせてい  
ただきました。模造紙一枚にレイ  
アウトしたのですが、常連のお年  
寄りのKさんがほとんど半分以上  
アイディアを出して展示物を  
作ってくれました。

『みんな・de・六会』は文字通り、  
みんなで作っていく地域の活動場  
所として育っています。  
(地域貢献係・小林 博)

六会駅前自治会文化祭に  
展示したパネルです！





Nさん(星の村)  
マリオにでてる  
アレです！笑

今回のギャラリーでは、  
星の村利用者さんの素  
敵なイラストと、特集でも  
取り上げたよし介工芸館  
所属の芸術家たちの作品  
を紹介します！  
皆さんの作品掲載も随  
時募集しています♪



ぱる  
ギャラリー！



横山さん(GH)  
市展に出展した絵画と共に



Nさん(星の村)  
見本を見ずに  
描いています★

井上さん(GH)  
カラフルに仕上げた器と



Kさん(星の村)  
スタッフを  
描いてくれました！



鈴木さん(GH)  
市展に出展した絵画と共に



仮面ライダー  
カブト

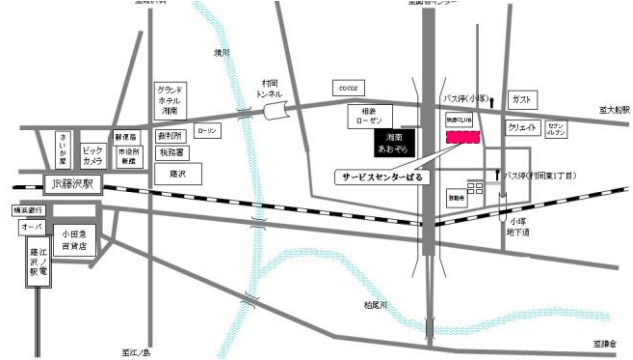
ありがとう  
Merci  
メルシー  
フランス語のありがとう

ご利用者様ご家族から、たくさんのおもちゃを頂きました。  
ヘルパー部署、子ども支援部署で、大切に使用させていただきます！



《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909  
藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>  
藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』  
『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』(教養センター行きは×)に  
乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分